

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸内視鏡における人工知能を使用したコンピュータ支援品質改善システムの開発と評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月1日から2023年12月31日までに、昭和大学横浜市北部病院 消化器センターで大腸内視鏡検査を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、大腸内視鏡検査のクオリティを向上させるための人工知能を開発・検討することです。

現在、大腸内視鏡検査において、撮影された画像内のポリープや癌を検出する人工知能が開発され、検査中の病変検出率を上げることに成功しています。しかし、そのような人工知能を用いても、適切な視野で内視鏡画像を撮影しなければ、病変を検出することは難しいです。そこで我々は、様々な状況で撮影された大腸内視鏡画像を評価することで、内視鏡検査中の画像が病変観察をするにおいて適切かどうかを点数付けする人工知能の開発を行います(以下 CAQ と略します)。CAQ は内視鏡検査中に、点数化された撮影状況を検査者に通知することで、適切な検査を促し、病変検出率を上げる可能性があります。また、大腸内視鏡検査において、どのような状況が検査のクオリティを左右しているか、客観的なデータは存在しません。CAQ を使用し内視鏡検査画像を点数付けすることで、検査のクオリティを左右している要素を客観的に評価することが可能となるため、加えて検討を行います。

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院消化器センター内の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存されます。

本研究で取得する診療情報は、昭和大学横浜市北部病院の大腸内視鏡検査の同意書に記載されている「教育・学術・および人工知能研究の目的での資料・情報保存に同意しません。」というチェック欄にチェックした方の情報は使用いたしません。また、本研究の研究資金として文部科学省科学研究費を使用いたします。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果

通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、大腸内視鏡検査画像、大腸内視鏡検査を行った検査医情報

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

実施医療機関

昭和大学横浜市北部病院消化器センター

(神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1)

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 医師・講師 三澤 将史

分担研究者 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 医師・教授 工藤 進英

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 医師・助教(医科) 澁谷 智也

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 医師・講師 一政 克郎

昭和大学横浜市北部病院消化器センター 医師・助教(医科) 井手 雄太郎

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名：三澤 将史

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000(代表)